



(仮称) 青葉台郵便局プロジェクト

今般、横浜市と東急株式会社が取り組む「次世代郊外まちづくり」で目指すまちの姿「コミュニティ・リビング」の推進に向け、モデル地区「たまプラーザ駅北側地区」で得た知見やノウハウを活かし、「青葉台エリア」への展開を開始します。青葉台駅徒歩3分に位置する青葉台郵便局の空き区画を活用した地域交流拠点「(仮称) 青葉台郵便局プロジェクト」を、2021年度に開業します。



▶ワークラウンジ (イメージ)



▶コミュニティラウンジ (イメージ)



▶イベントスペース (イメージ)

テレワークなどで利用できるワークラウンジや、交流の場となるコミュニティラウンジ、ワークショップやセミナーでの利用が可能なイベントスペースで構成します。イベントスペースでは、青葉台エリアの郵便局や、商店会・大学などと連携し、地域活性化に貢献するワークショップやセミナーなどを開催することで、地域の交流拠点を目指します。



青葉台の魅力を再発見するワークショップを開催しました！



▶12/26 ワークショップ
「この街で働くために」



▶1/9 ワークショップ
「子どもが育つまち」

本施設開業に向けてのイベントとして、2020年12月から「働く」「子育て」をテーマに、地域の方々と青葉台の魅力を再発見するワークショップを計2回開催いたしました。青葉台に対する理解を深めるとともに、より良い地域の実現のために関連した議論が繰り広げられました。今回の議論を活かしながら、施設開業に向け準備を進めています。

次世代郊外まちづくり
WISE CITY



<http://jisedaikogai.jp/>
Web サイトはこちら



横浜市



東急

SDGs未来都市・横浜



横浜市は2018年6月に、SDGsの達成に向けて優れた取組を提案する都市「SDGs未来都市」と、その中で特に先進的な取組をする「自治体 SDGs モデル事業」に選定されました。「環境を軸に、経済や文化・芸術による新たな価値・賑わいを創出し続ける都市の実現」をビジョンに、SDGs未来都市の横浜型大都市モデルに挑戦しています。

WISE CITY

WELLNESS・WALKABLE & WORKING
INTELLIGENCE & ICT
SMART・SUSTAINABLE & SAFETY
ECOLOGY・ENERGY & ECONOMY

2021年4月発行

編集・発行

横浜市・東急株式会社

【連絡先】横浜市建築局住宅再生課

☎045-671-2954

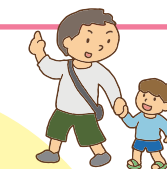
次世代郊外 まちづくり通信

vol.34

次世代郊外まちづくり通信は、「次世代郊外まちづくり」のさまざまな活動をお知らせし、地域の皆さまをはじめとして多くの方々に知ってもらうためのニュースです。



2021年度 活動方針



田園都市での
“自由で豊かな”
暮らし方・働き方
の実現



持続可能な郊外住宅地のためには、地域で新しい暮らし方が生まれ、充実したライフスタイルを送れることが大切と考えます。そこで、次世代郊外まちづくりでは既存のまちの様々な施設、環境、そして人々の活動を活かして、「住む」だけではなく、地域の様々な「活動」が活発に展開され、新しいビジネスが生まれ、自由で豊かな「暮らし方」そして「働き方」が可能なまちづくりを目指します。



2021年度のリーディングプロジェクトをご紹介します！

1

地域の経済モデル創出 に関する取り組み

地域に様々な「働き方」を創出するための仕組みや場づくりを検討します。新たな「働き方」や「働く場」が生まれることで、地域経済が循環し持続可能なまちを目指します。

2

コミュニティ・リビングの実現 に関する取り組み

地域の課題整理や資産・資源の活用に向けて有識者や関係者等を交えた検討を進めます。また沿線での新たな交流拠点の活用にも取り組みます。

3

郊外住宅地の暮らしやコミュニティを支えるインフラ、ネットワークづくりに関する取り組み

地域に関わる多様な組織・グループがともにまちづくりに取り組めるよう、企業と連携しながら活動を支援する場の創出や様々な活動のネットワーク化を進めます。

4

エリアマネジメント等の推進 に関する取り組み

連合自治会や商店会、各エリアマネジメント組織など、地域の価値向上に向けて活動する団体による情報共有・意見交換を行う場を創出します。

5

「次世代郊外まちづくり」の 情報発信、及びプロモーション

ウェブページや次世代郊外まちづくり通信、またコミュニティ・リビングの拠点等を活用し、次世代郊外まちづくりの活動の情報発信をします。

2020年度の活動報告

1 郊外住宅地の暮らしやコミュニティを支えるインフラ、ネットワークづくり

●「たまプラリビングラボ」の実施 - 「まちのコイン」社会実験 -

たまプラ・コネクが中心となり、NTTとNTTドコモと共にIoT・ICTを活用したコミュニティ活性化のためのサービス「たまプラロボット」の検証を2019年度よりスタート。今年度は、「たまプラロボット」に加えて、地域コミュニティ通貨としてカヤックが開発した「まちのコイン」を活用した実験も並行して実施。まちづくり団体やお店が参加して、新たなコミュニティを生み出し、住民や商業者による共助をつくるツールとしての可能性を探りました。

イベント計6回 11/17、12/12、1/31、2/25、3/4・5・6、3/27・28
登録者数 2021年3月現在（たまプラロボット 1670名、まちのコイン 1057名）

●住民による地域課題の解決を支援する「共創企画」の実施

WISE Living Labの共創スペースの提供を通じて、地域の住民によるまちづくり活動、**5団体（7企画）**を支援しました。また、共創企画の1つとして、元石川高校のアントレプレナー授業へも協力。「**高校生によるまちづくりの情報発信**」をテーマに7班からアイデアを提案いただきました。さらにそこからスピナウト企画「次世代郊外まちづくり通信特別号」の制作にも取り組みました。

共創企画一覧（2020.4 - 2021.3）

1. 街のはなし実行委員会「街のはなし」
2. 100段階プロジェクト
3. 「災害時のペット対策」ガイドラインを読む会
4. M-NEXプロジェクト
5. 元石川高校アントレプレナーシップ
6. 元石川高校スピナウト企画
7. たまプラ・コネク「まちのコイン」

●子ども・子育てタウンミーティングの実施

12月4日（金）第21回子ども・子育てタウンミーティングをオンラインも活用して実施しました。16名の参加者による意見交換と共に、地域での持続可能な運営を目指し、住民を主体とした新体制のご案内を行いました。



▶たまプラロボット



▶元石川高校アントレプレナーシップ



▶子ども・子育てタウンミーティング



2 コミュニティ・リビング実現のための取り組み

●「暮らしと住まいのランドデザイン」に基づく空間戦略

コミュニティ・リビング実現に向けて策定された「暮らしと住まいのランドデザイン」をもとに、土地利用転換が予想される土地の利用について意見交換しました。また、歩きやすく賑わいのある街路づくりにむけて地域の方との勉強会を開始しました。

●地域交流拠点「（仮称）青葉台郵便局プロジェクト」の開業準備

モデル地区で得た知見やノウハウを活かし、東急株式会社では横浜市の協力を得ながら、「新しい働き方・暮らし方やコミュニティ形成」につながる地域交流拠点として、青葉台郵便局の空き区画を活用した「（仮称）青葉台郵便局プロジェクト」の開業準備を進めています。開業に先がけ、次世代郊外まちづくりでは、プレイベントとして地域の方々と青葉台の魅力を「働く」「子育て」にフォーカスして再発見するワークショップを計2回（2020年12月26日、2021年1月9日）開催しました。→ [詳細はp.4をご覧ください](#)

3 エリアマネジメント等の推進に関する取り組み

●「美しが丘次世代ネットワーク情報連絡会」の開催

連合自治会や商店会、行政、エリアマネジメント組織である一般社団法人ドレッセ WISE たまプラーザエリアマネジメントなど、「まちの価値向上」にむけて活動する団体による情報共有・意見交換を行う場「[美しが丘次世代ネットワーク情報連絡会](#)」を定期的開催しました。（月1回程度）

4 地域の経済モデル創出に関する取り組み

●「田園都市で暮らす、働くプロジェクト」の実施

地域で「豊かで新しい暮らし方、働き方」を創出するため、オンラインを活用した4つのプログラムを実施しました。

1. 田園都市で暮らす、働くを語ろう！ トークイベント

新しい暮らし方や働き方の実践者の話を聞いて考えるトークイベントを開催しました。

キックオフ ● 6月6日（土）

つくりたい未来が生まれるように暮らすとは

第1回 ● 6月27日（土）

あおば地域活動の最前線 - あおばの今を共有しよう -

第2回 ● 7月18日（土）

ポストコロナにおける地域起業、
地域活動への期待と見えてきた課題

第3回 ● 9月19日（土）

郊外における”小さな経済圏”の未来像

第4回 ● 2月20日（土）

準工業地帯発 地域子育てと場づくり



2. プロボノ実践プログラム

プロボノの基礎を学ぶとともに、実際に青葉区の団体（GrASP、日体大 FIELDS）にもご協力いただき、実際に支援活動を体験できるプログラムを実施しました。

8月7日（金）第1回 入門編

8月21日（金）第2回 実践編①

8月28日（金）第3回 実践編②

12月5日（土）最終発表会



4. あおばセカンドキャリア地域起業セミナー

講義や地域の担い手として活躍する先輩起業家からのお話を通してソーシャルビジネスについての基礎を学ぶ連続セミナーを実施しました。

9月26日（土）オリエンテーション

10月3日（土）ワークショップ

10月10日（土）事業計画

10月17日（土）資金計画、地域起業①

10月24日（土）地域起業②

12月5日（土）最終発表会

3. あおば地域起業相談室

1対1での相談会を実施しました。

プランのブラッシュアップや講座フォローなど、次の一歩を踏み出すための支援を行いました。

5 「次世代郊外まちづくり」の情報発信、及びプロモーション

●次世代郊外まちづくり通信の発行

次世代郊外まちづくりの発行（32号、33号、元石川高校特別号）などにより、情報発信に努めました。

